

LinkerWorks クラウドサービス仕様書

1.05 版

2024/4/5

ウエストユニティス株式会社

はじめに。

本書で特別に定義されていない限り、本書で使用されている用語の意味は、「LinkerWorks ご利用規約」に定める定義によるものとします。

1. 本書の目的

LinkerWorks クラウドサービス仕様書は、当社が提供する本サービス（LinkerWorks クラウドサービス及びこれに付随または関連して当社が提供するサービス）の内容、提供方法、サービスレベル、お問い合わせ方法等、本サービスの詳細について記述したものです。本書に記載されていない事項については、本規約（「LinkerWorks ご利用規約」）の条項に従うものとします。

2. サービス内容・範囲

本サービスは、当社製スマートグラス「InfoLinker3」（当社製品）または、スマートフォンにインストールされた「LinkerWorks クライアントアプリ」（クライアントアプリ）と組み合わせて使用し、複数の人・現場とをつなぐことで、現場作業を支援するためのクラウドサービスです。

本サービスでは、主に下記の機能を提供します。本サービスの利用者としては、主に、作業者と当該作業者に対して作業の指示または監督を行う監督者と、ユーザー管理を行う管理者が想定されます。

(A) 作業サポート機能

複数の作業者をビデオ通話でつなぎ、遠隔から作業者の作業を支援する機能を提供します。

(B) 作業ナビ機能

作業者が利用するクライアントアプリがインストールされたユーザー機器等に表示する作業指示コンテンツの作成と、作業指示に従って作業した履歴を確認する機能を提供します。

※上記機能の詳細及びその他の機能の内容については、当社ウェブサイト（<https://www.westunitis.co.jp>）にてご確認ください。

2.1. 本サービスの提供者

ウェストユニティス株式会社

2.2. 本サービスの対象者

ユーザー（以下、お客様）

2.3. 本サービス対象国

本サービスの利用は、下記の地域に限定されます。

- 日本

出張等により日本国外において、一時的に本サービスを利用する場合にはこの限りではありませんが、お客様は事前に当社へ利用国の申請し、当社から事前の許可を得ていただく必要があります。事前許可なく、本サービス対象国以外の国・地域からアクセスしたことを検知した場合、当社は当該お客様に対し本サービスの提供を中断または利用契約を解除する場合があります。

利用国の申請については、下記の情報を 3.4 でご案内の当社サポートデスクまでご連絡ください。

- 利用国
- 利用開始・終了期間
- アクセス元 IP アドレス（なお、お客様にて用意された固定 IP での運用を前提としております。）

利用国申請に対する当社の許可後においても、本サービス対象国以外の国・地域における利用または当該国・地域からの利用については、本規約第 8 条第 5 項に定めるとおり、動作を保証するものではありません。また、お客様の責任において適用を受け得る法令を遵守して利用していただくようお願いします。

2.4. 当社からお客様への提供物

名称	数量	提供時期	提供方法
LinkerWorks クラウドサービスアクセス URL	1	利用開始日までに通達	メール
管理者アカウント ID/仮パスワード	1	同上	メール
LinkerWorks ご利用マニュアル	—	同上	ウェブサイト

当社から提供した管理者アカウントの仮パスワードは、本サービスへログインした後、お客様ご自身にて、その管理及び責任において、パスワード変更機能を使用しての本パスワードへの変更をお願いします。

2.5. 本サービスの利用条件・制約

本サービスはインターネットにアクセスできる環境から、当社が提供した「LinkerWorks クラウドサービスアクセス URL」へ、Web ブラウザまたはクライアントアプリからアクセスすることによってご利用いただけます。

なお、セキュリティの観点から、「LinkerWorks クラウドサービスアクセス URL」は、パブリックなインターネット環境で公開されログイン等のユーザー認証がなくとも誰でもアクセス可能なウェブページ上にリンク先として設置しないようお願いします。

当社は、お客様に対し、「3 サービスレベル」に定める目標に則り、商業的に合理的な努力義務をもって本サービスを提供します。尚、本サービスの提供開始後、お客様から本サービスの内容、運用基準等の変更をご依頼されても、対応できません。また、「3 サービスレベル」に定めのない目標については、当社は、努力義務を負わないものとします。

本サービスは、当社が指定する下記の IaaS 事業者が提供するインフラ上に構築されており、本サービスの一部は IaaS 事業者のサービス内容に準じます。

当社指定の IaaS 事業者： Amazon Web Service（東京リージョン）

以下は、上記 IaaS 事業者のサービス内容に準じます。

- データセンターの敷地、建物、サーバー室、機器に関する事項
- データセンターの管理及び運用に関する事項

2.5.1. 本サービスのプラン

本サービスで提供されるプランは下記の通りです。プランの詳細については、当社までお問い合わせください。

プラン名称	管理機能	作業ナビ機能	作業サポート機能
標準 作業ナビ機能と作業サポート機能を含む、すべての機能を利用することが可能なプラン。	○	○	○

追加オプション

適用機能	拡張機能名称
作業ナビ機能	音声入力拡張機能 InfoLinker3 から作業ナビ機能を使用する際に、音声によるフリーテキストまたは数値の入力を可能にする要素作業を登録することが可能になる。

2.5.2. 利用環境

本サービスを利用するためにお客様が用意されるユーザー機器等の動作環境については、当社ウェブサイト (<https://www.westunitis.co.jp>) をご確認ください。

お客様が上記の動作環境の条件を満たさない環境を利用することに起因して、本サービスの全部または一部が利用できない場合、当社は一切責任を負いません。

上記条件を満たす場合でも、お客様またはその利用者の固有の動作環境の制限・設定によっては、本サービスの一部の

機能がご利用頂けない場合があります。

2.5.3. 利用者数

お客様が当社に対して提出された「InfoLinker3/LinkerWorks 購入申込書（以下、購入申込書という）」でご希望されたライセンス数に基づき、当社がお客様に付与したライセンス数（契約ライセンス数）の範囲内で本サービスをご利用頂けます。契約ライセンス数を上限として、ユーザー管理権限を持った利用者（管理者）が本サービスのユーザー管理機能を利用し、ユーザーIDを新規登録または削除することで、利用者数を増減させることが可能です。

契約ライセンス数を超過するユーザーIDを登録することはできません。契約ライセンス数を超えたご利用を当社が検知した場合、当社は当該お客様に対し本サービスの提供を中断する場合があります。契約ライセンス数の増減が必要になる場合は、当社サポートデスク（下記「3.4 当社サポートデスク」ご参照）または販売店へご連絡ください。

2.5.4. 本サービスの利用に必要な回線

オープンなインターネット網に接続できる回線が必要です。また、下記の点について留意ください。

- ファイアウォールやルーターの設定によって、本サービスにアクセスできない場合があります。このような場合、ファイアウォールやルーターの設定を変更して頂くことによって、ご利用可能になります。
- 当社は、インターネット回線事業者・ISP（インターネットサービスプロバイダー）・IaaS 事業者の都合により、本サービスの利用に支障が発生した場合の責任は、負わないものとします。
- ネットワーク環境や必要な帯域は、お客様または利用者の使用方法によって大きく変わるため、事前に使用環境での接続状況をご確認ください。

本サービスでは下記の通信方式を採用しております。

利用機能	プロトコル	ポート
API 通信全般	HTTPS	443
作業サポート（WebRTC 通信）	DTLS/SRTP（UDP）	動的 1024～65535
	STUN（TCP/UDP）	3478
クライアントアプリ（ネットワーク時刻調整） ※当社以外の外部 NTP サーバーへのアクセス	UDP	123

通話機能（作業サポートまたは作業ナビの通話アクション）を利用される場合のネットワーク環境制限

- NAT 設定は Cone タイプを推奨します
- 通話時の映像及び音声データは端末間の P2P 通信により実現されますが、NAT 超えができない場合は本サービスが提供する中継サーバーを経由して、データ通信が行われます

セキュリティソフトにより、サイトアクセスの制限をされている場合、下記のホスト名についてアクセスを許可するように設定をお願いいたします。

- xxx.linkerworks.com
（xxx 部分は、LinkerWorks クラウドサービスへのアクセス URL で提供したお客様毎のサブドメイン名）

- rtc1.linkerworks.com
- rtc2.linkerworks.com
- turn01.linker.works

2.5.5. 本サービスへの接続回線

本サービスは、上記 IaaS 事業者の回線を利用しており、回線速度はベストエフォート型です。レスポンスタイムについてもベストエフォート型です。当社は IaaS 事業者の都合により本サービスの利用に支障が発生した場合の責任を負わないものとします。尚、データ通信量について著しく利用量が高い場合、お客様のネットワーク構成の変更依頼等、当社からご相談させて頂く場合があります。

2.5.6. クラウドストレージ

作業ナビまたは作業サポートのいずれかの機能によってクライアントアプリを使用して撮影した写真または動画データは、使用制限を超えないデータサイズの場合、送信データとして、当社が管理するクラウドストレージへ保管され、お客様は、当該送信データを当社製品またはユーザー機器等において利用することができます。ただし、ネットワーク環境によってデータ送信が完了できない場合や、データ送信が完了する前に利用者の操作でログアウトすることによってデータ送信を中断した場合等、クラウドストレージへ保管されない場合があります。当社は、クラウドストレージへ常に送信データが保管されることが保証するものではありません。

2.5.7. バージョンアップ

当社が本ソフトウェアの更新が必要であると判断した場合、バージョンアップを「3.6 計画停止」の通りに実施します。

2.5.8. サービス内容の変更通知

当社は、本書の内容を変更する場合があります。サービス内容に関わる変更の場合は、本規約第7条に従い、かつ下記のとおり通知を行います。

通知時期	少なくとも 30 日前
通知方法	・当社ウェブサイトでの提示 ・購入申込書に記入し指定された設定・運用担当者宛への電子メール送信

2.5.9. サービスの中断、廃止

本規約をご覧ください。

3. サービスレベル

3.1. サービス提供期間

24 時間 365 日（ただし、計画停止を除く）

3.2. 可用性

本サービスの稼働率を 99.5% とします。（努力目標とし、保証するものではありません。）

稼働率の算定は下記の計算式によって行います。

$$\text{稼働率} = (\text{1ヶ月の合計時間} - \text{障害発生中の時間}) \div \text{1ヶ月の合計時間}$$

稼働率算定時の「障害発生中の時間」には、本ソフトウェアに直接起因する“外部に応答を返せない状態が連続して 1 時間以上経過する事象”を障害とし、下記の事象は障害には含みません。

- 計画停止
- 1 時間未満の外部に応答を返せない状態
- クライアントアプリの不具合に起因する場合
- クライアントアプリがインストールされたユーザー機器等に起因する場合
- お客様のネットワーク障害や負荷などお客様の利用環境に起因する場合
- 当社が指定する IaaS 事業者のサービス障害によるサービス停止
- 第三者ソフトウェア、F O S S、その他の第三者サービスに起因する障害
- お客様の故意または過失に起因する本サービスの提供の中断または廃止
- 第三者の攻撃に伴う障害
- 不可抗力による本サービスの提供の中断または廃止
- その他、利用契約において当社が保証しない事象または現象

障害発生中の時間 = 障害発生起点 から 復旧完了まで

障害発生の起点	お客様からの申告により当社が障害と認知した時点。または、当社からお客様に障害の通知を行った時点。
復旧完了の条件	当社が問題の回復を認知、または代替手段の提供を行った時点。

3.3. 目標障害復旧時間

12 時間以内の復旧を目標としますが、保証するものではありません。

3.4. 当社サポートデスク

本サービスに対するお問い合わせとして、サポートデスクを提供します。

3.4.1. サポートデスクへのお問い合わせ

購入申込書にお客様が記入し指定された設定・運用担当者からのお問い合わせにのみ対応します。
設定・運用担当者に変更がある場合は、当社サポートデスクへお問い合わせください。

3.4.2. サポートデスク対応時間

受付時間：24 時間 365 日（ただし、メールに対する返信は下記営業時間内での対応となります。）

受付方法：電子メール<customer_support@westunitis.co.jp>

対応できる営業時間：当社営業日の 10:00 - 17:00

- メール受信後は速やかに受信した旨のご通知及びご回答等の対応を開始するよう努めます。

3.4.3. サポートデスク対応内容

本サービスに関するお問い合わせ、及び障害について対応します。

- お問い合わせに対し商業的に合理的な範囲内でお客様が問題解決できるよう努めますが、全ての問題解決を保証するものではありません。

サポートデスクにおける対応及びサポートデスクから提供する資料は、すべて日本語によるものとします。

3.5. 障害対応

当社による本サービスの障害への対応は下記のとおりとします。

- 障害の状況確認を行うものとし、本サービスが提供する機能の利用可否を通知するものとします。
- 本ソフトウェアに直接起因する障害の場合は、当社にて再立ち上げを含め復旧対応するものとします。
- 障害発生によりデータが消失または毀損した場合、24 時間から最大 7 日前までのデータをリストアします。バックアップは複数の拠点で保管されますが、各拠点で同時にクラッシュが発生した場合等はバックアップしたデータの全部が消失または毀損する場合があります。
- 障害が発生した場合、商業的に合理的な範囲で上記のとおりバックアップしたデータをリストアして復元ができるよう努めますが、データの復元が可能であること及びすべてのデータを完全に復元することを保証するものではありません。
- 当社は、本サービスにおいて、障害によりデータが削除、消去、毀損、滅失または漏えいした場合、速やかに原因を追求し、復旧に努めるものとしますが、このことは復旧を確約するものではありません。なお、お客様またはその他の第三者の責に帰すべきデータの削除、消去、廃棄、毀損、滅失または漏えいについて、当社は当該データを復元する何らの義務または責任を負うものではありません。
- 当社は、障害対応のため、お客様が本サービスにおいて取得若しくは保有するデータ、お客様の送信データであって「2.5.6 クラウドストレージ」に定めるとおり保存されたデータの全部または一部を確認する必要があると判断した場合に、当該データの開示または提供を求めて、これを確認することがあります。この場合、お客様はすみやかに当社の求めに応じるものとします。

3.6. 計画停止

当社が本ソフトウェアの更新が必要であると判断した場合、バージョンアップ及び、メンテナンスを当社指定の時間で行います。本規約第 11 条に定めるとおり、当社が予め計画するバージョンアップ及び、メンテナンスについて下記通知期限を目標

に、事前にお客様に通知しますが、緊急時のメンテナンスについては事前に通知することができない場合があります。

区分	リリース内容	連絡期限
計画	機能追加・バグフィックス・機能改善・メンテナンス（本サービスの中断あり）	2週間前
計画	機能追加・バグフィックス・機能改善・メンテナンス（本サービスの中断なし）	1週間前
計画	メジャーバージョンアップ・業務に影響のある大規模 UI 変更	2週間前
計画	既存機能の廃止・仕様変更	1ヶ月前
臨時	本サービスの提供の継続に必要な臨時メンテナンス	即日都度
緊急	メンテナンス後に問題が発生した切り戻し、機能提供に問題のある不具合の パッチ適用やセキュリティ対応等の緊急メンテナンス	即日都度

3.7. 通知方法

計画停止またはインシデントの通知は、当社ウェブサイトでの提示、または購入申込書にお客様が記入し指定された設定・運用担当者宛に電子メールにて通知を行います。

4. セキュリティー

4.1. 公的認証取得状況

公的認証	認証登録番号	登録日
ISMS 認証 (ISO/IEC 27001:2013 / JIS Q 27001:2014)	JQA-IM1807	2021年9月10日

4.2. セキュリティー対策

本サービスでは、主に下記の対応を行うことにより、セキュリティ管理を行うものとします。

大項目	中項目	対応概要
認証	ログイン認証方式	Web ブラウザ : ID/PW 方式、シングルサインオン (SSO) 方式 InfoLinker3 : ログイン QR コードスキャン方式
	不正ログイン対策 (Web)	連続 7 回のパスワード間違いによるログインに失敗した場合、強制的に該当利用者のログインができないように制御します。(解除には、管理者による解除操作が必要) シングルサインオン方式に変更することによる、認証プロバイダー側での強固な不正ログイン対策の適用可能です。
	不正ログイン対策 (InfoLinker3)	発行済みログイン QR コードを即座に無効化する機能を提供します。 ログイン QR コード紛失時に、有効期限の残っている発行済みのログイン QR コードを無効化し、ログインできないようにします。

	パスワードポリシー指定	お客様のセキュリティポリシーにより、お客様自身で下記の設定が可能です。 <ul style="list-style-type: none"> ・パスワード文字列の最低長の指定（8～127文字） ・パスワードに含める文字種指定（数字・記号の有無） ・パスワードリセット期間の設定 シングルサインオン方式に変更することによる、認証プロバイダー側でのパスワードポリシー対策の適用可能です。
	API セキュリティー	全てのサーバー/デバイス間通信用の API はアクセストークンによる認証を実施します。
サーバー	地域制限	本サービス対象国以外の国・地域からのアクセス(IP アドレス)に対してブロックします。
	アクセス URL 分離	お客様ごとに専用のサブドメインを発行するため、URL を知らない限りは第三者から、お客様の環境へアクセスされることはありません。
	アクセス制限	ユーザーID 毎に 4 種類の権限から 1 つを適宜設定することで制限します。
	データ通信暗号	TLS 暗号化（SSL 暗号化は脆弱性が存在するため対応しません）
	ポートフィルタ	ロードバランサによりポートフィルタ設定を実施します。
	データ暗号化	お客様のデータを保存するサーバ上の媒体には、下記の暗号化を施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ストレージ：IaaS 事業者提供の暗号化設定されたストレージサービスの利用 ・データベース：暗号化設定の有効化
	冗長性	サーバー及びストレージ、データベースはマルチ A-Z にて構成します。
	バックアップとリストア	1 日 1 回の定期的バックアップとリストアテストを実施します。 バックアップは 7 世代まで保管します。
	不正アクセス対策	WAF（Web Application Firewall）による Web サーバーへの不正アクセス対策と監視を行います。
	ウイルス対策	ソースコード・ライブラリ管理レベルでの脆弱性検出。 運用時の WAF 機能による検出と遮断、及びコンテナサービスを利用した不正プログラム実行の抑止。
	セキュリティパッチ	IaaS 事業者側でのセキュリティパッチに対応するコンテナサービスを利用
	脆弱性テスト	変更内容に応じて、下記の通りに実施します。 <ul style="list-style-type: none"> ・機能追加を伴う計画アップデートのリリース時：Web アプリケーションテスト ・構成変更時または、1 年に 1 度の定期：プラットフォームテスト ・更新規模の大きい計画アップデートのリリース時：ペネトレーションテスト
	契約終了時データ破棄	ストレージについてはお客様のご利用に紐づく S3 バケットを破棄します。 また、データベースについてはお客様がご利用された全てのレコードに対して DELETE 構文による物理削除を実施します。
デバイス	ユーザー情報	暗号化された状態で Preference に保存します。
	撮影データ	指定された保存期間が経過した、サーバー未送信の一時的な撮影データを自動でデバイスから削除します。 （自動削除の有効化と保存期間はクライアントアプリから変更可能）
	作業データ	撮影データ以外の作業履歴データはサーバーへ送信後に該当データをデバイスから削除します。

ログ	ログ収集	保存期間：1年
	アクセス履歴	Web上でのアクセス履歴表示（過去6か月分）と、ファイル書き出し機能が利用可能です。

下記に対するセキュリティリスクは、本規約第16条第5項に定めるとおり、当社では一切の責任を負わないものとします。お客様ごとにセキュリティ対策をお願いします。

- お客様の故意または過失によるデータの削除、消去、廃棄、毀損、滅失または漏えい（以下、「漏えい等」といいます）
- クライアントアプリがインストールされたユーザー機器等、お客様の故意若しくは過失または盗難等による、クラウドサービスを経由しないデータの漏えい等（ユーザー機器等の盗難等時に、内部に保存されたデータが漏えい等した場合を含みますが、これに限られません）

4.3. セキュリティチェックシート

当社が提供する下記フォーマットの当社回答内容を参考に、お客様の導入検討に必要なセキュリティチェックシートをご確認ください。

- 総務省 ASP・SaaSの安全・信頼性に係る情報開示指針（第2版）
- IPA セキュリティ実装 チェックリスト

お客様のフォーマットによるチェックリストへのご回答が必要な場合、有償で対応させていただきます。

4.4. 利用契約終了時のデータ破棄

本規約第16条第7項に定める利用契約終了に伴うデータ破棄処理については、利用契約終了時から10営業日以内にデータの破棄処理を実施します。

データ消去・破棄証明書が必要な場合、利用契約終了時に当社サポートデスクへ問い合わせください。

（消去・破棄証明書の書式は、本書の末尾「データ消去・破棄証明書」に添付）

5. データ

本サービスに関連するデータの取扱いについて、本規約第16条に定めるとおり、下記の制約があります。

- お客様の故意または過失により漏えい等したデータの復旧には対応しません。
- 利用契約の終了後に再度、利用契約を締結され、本サービスの利用を再開された場合においても、以前の利用契約時にご利用になられたデータは移行または復旧されません。
- クライアントアプリがインストールされたユーザー機器等及びユーザー機器等内のデータは、お客様にて保全または管理されるものとし、当社は、当該データの保全または復元について何ら責任を負いません。

5.1. 情報セキュリティ及び個人情報の取り扱い

当社ウェブサイトにて公開する、「情報セキュリティポリシー」、及び「個人情報の取り扱いに規定」に準拠します。

5.2. 情報・ログ

当社が本サービスを提供するにあたり、本サービス上で収集する情報（個人情報を除いたアクセスログ、操作ログ、またはエラーログなど）については、利用契約終了後においても、本サービスの改善・発展または保守管理を目的として保有し、これを把握・分析できるものとします。

5.3. バックアップ

お客様の環境において、お客様自らの費用と責任で下記データのバックアップが可能です。ただし、お客様が取得したバックアップデータを利用したデータの復元機能または復元サービスは提供しません。

機能	データ	取得形式
管理	アクセス履歴	CSV 形式ファイル
作業ナビ	作業工程コンテンツデータ	独自形式ファイル
	素材アップロードデータ	画像ファイル、動画ファイル
	作業履歴データ	CSV 形式ファイル
	撮影データ	画像ファイル、動画ファイル
	作業日程データ	CSV 形式ファイル
作業サポート	撮影データ	画像ファイル、動画ファイル

上記以外のデータについては、お客様にてバックアップすることはできません。お客様において本サービスとは別に管理頂きますようお願いいたします。

6. その他

6.1. 監査のご要望

「4.3 セキュリティチェックシート」に定めるお客様のフォーマットによるチェックリストへのご回答以外、当社は、資料の提出等、お客様からの個別の監査のご要望には対応しないものとします。

6.2. 商標

- 「InfoLinker」及び「LinkerWorks」は当社の登録商標です。
- 「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 「Amazon Web Services」、「AWS」、及び当ウェブサイトで使用されるその他の AWS 商標は、米国その他の諸国における、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- その他、本書に記載されている社名及び商品名は、各社が商標または登録商標である場合があります。

7. 用語

用語	説明
ユーザー管理権限	本サービスを利用するために必要な、ユーザーID の追加・削除・編集を行うことができる権限。
管理者	ユーザーID として設定可能な権限の中で、ユーザー管理権限を含め全ての機能を利用可能な権限。
設定・運用担当者	購入申込書においてお客様が指定された、本サービスに関する当社からの通知やサポートデスクの利用が可能な担当者。
インシデント	外部・内部からの攻撃による本サービスの運用に重大な影響を及ぼす事象または、お客様のデータが外部へ漏えいする事象。 「障害」に含まれる場合もあれば、含まれない場合もあります。
WebRTC 通信	ビデオ通話時に使用される映像・音声等のデータ通信をリアルタイムに行うための規格。
NAT	LAN 内で使用しているローカルアドレスを、インターネットの世界で利用できるグローバルアドレスに変換する仕組み。主に下記の 4 種類の手法があります。 <ul style="list-style-type: none">• Full cone NAT• Address-Restricted cone NAT• Port-Restricted cone NAT• Symmetric NAT

8. 更新履歴

版数	更新日	内容
1.00	2021/6/7	初版
1.01	2021/10/8	2.5.1 本サービスのプラン サービスのプランから「作業サポート単体」と「作業ナビ単体」プランを削除 2.5.4 本サービスの利用に必要な回線 作業サポートの利用に必要な通信ポートの追記 2.5.8 サービス内容の変更通知 通知を行う際の条件として、サービス内容の変更が異なることを条件に追加 4.1 公的認証取得状況 ISMS 認証取得の状況更新
1.02	2022/8/9	4.2 セキュリティ対策 シングルサインオンの認証方式を追加 ウイルス対策・セキュリティパッチに関して、コンテナでの運用に更新 アクセス履歴の期間に過去 6 か月分を追加
1.03	2023/4/1	3.4.2 サポートデスク対応時間を変更
1.04	2023/10/2	5.3 バックアップ 作業工程コンテンツのバックアップを独自形式に変更 2.5.4 本サービスの利用に必要な回線 アクセス許可の設定をいただく必要のあるホスト名一覧を追記
1.05	2024/4/5	3.6 計画停止 臨時メンテナンスを追加し、緊急メンテナンスの対応内容を修正

データ消去・破棄証明書

御中

1. 下記に記載するデータについて、消去・破棄したことを証明します。

データ消去・破棄した日： 年 月 日

情報	格納場所	削除方法	実施確認
ユーザー情報 (ユーザー、グループ、連絡先)	データベース	該当レコードに対して SQL DELETE 構文実行	
アクセス履歴	データベース	該当レコードに対して SQL DELETE 構文実行	
作業ナビ：作業工程コンテンツ	データベース	該当レコードに対して SQL DELETE 構文実行	
作業ナビ：作業日程	データベース	該当レコードに対して SQL DELETE 構文実行	
作業ナビ：作業履歴	データベース	該当レコードに対して SQL DELETE 構文実行	
作業ナビ：撮影データ	ストレージ	バケット削除	
作業サポート：撮影データ	ストレージ	バケット削除	

年 月 日

ウエストユニティス株式会社
データ消去・破棄責任者

印